

コロナ対策徹底

2023年度 協会けんぽ

# 生活習慣病予防健診のご案内

## 事業主の皆様へ

サンタマリア病院では、様々な新型コロナウイルス感染症の対策を講じ、皆さまに**安心・安全**な健康診断をご提供できるよう努めております。

当院で

## 「生活習慣病予防健診」を受ける\5つのメリット/

### 1. 協会けんぽの補助により、健診費用がお得です！

→35歳未満の被保険者（ご本人様）や健保未加入の方等は生活習慣病予防健診としての補助がありません。

通常価格 18,865 円 → **5,282 円** (税込) で受診いただけます。

### 2. 定期健康診断の項目に加え、

#### 胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診も含まれています！

→協会けんぽから送付される、「生活習慣病予防健診のご案内」の裏面、「生活習慣病予防健診対象者年齢表」もあわせてご覧ください。

### 3. 胃がん検診はより精度の高い胃カメラに変更可能\*です！

\*追加料金 5,500 円で胃部X線検査 → 胃内視鏡検査に変更できます。

### 4. 女性医師・女性技師による乳がん・子宮頸がん検診を受けられます！

乳がん検診		子宮頸がん検診
40～48歳	50歳以上	36～74歳
+1,574円	+1,013円	+970円

※偶数年齢の女性対象、別途追加料金を申し受けます。

### 5. 管理栄養士による健康相談が無料です！

→従業員の皆様の、日々の健康づくりと生活習慣の改善を強力にサポートします！

当院なら

当院なら

当院なら



検査項目		協会けんぽ 生活習慣病	定期健診	人間 ドック	レディース ドック
		35歳以上	法定項目含む	基本	女性
診察	問診・診察	●	●	●	●
計測	身長・体重・BMI・体脂肪測定・腹囲・視力・聴力	●	●	●	●
	眼底検査	*付加			
尿	尿糖・尿蛋白・潜血	●	●	●	●
	ウロビリノーゲン		●	●	●
	沈査	*付加			
血液 一般	ヘマトクリット・白血球・ヘモグロビン	●	●	●	●
	血色素・赤血球	●	●	●	●
	血小板数	*付加	●	●	●
	MCV・MCH・MCHC			●	●
	血液型(ABO)・血液型(Rh)※初回のみ			●	●
肝機能	AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GT(γ-GTP)	●	●	●	●
	ALP	●	●	●	●
	総蛋白・アルブミン・A/G比	*付加	●	●	●
	総ビリルビン	*付加			
	LDH	*付加		●	●
	コリンエステラーゼ・LAP		●	●	●
脂質 代謝	総コレステロール定量	●	●	●	●
	中性脂肪・HDL-Ch・LDL-Ch	●	●	●	●
糖代謝	空腹時血糖	●	●	●	●
	HbA1c	●	●	●	●
痛風	尿酸	●	●	●	●
膵機能	アミラーゼ	*付加		●	●
腎機能	血清クレアチニン・eGFR	●	●	●	●
炎症反応	CRP				●
肝炎	HBs抗原・HCV抗体	*1		●	●
リウマチ	リウマチ因子(RF)			●	●
呼吸器	胸部X線検査	●	●	●	●
	肺機能(肺活量・%肺活量・1秒量・1秒率) <sup>※1</sup>	*付加		●	
循環器	血圧	●	●	●	●
	12誘導心電図	●	●	●	●
	心拍数			●	●
消化器	胃部X線検査	●		*4	*4
	胃管内視鏡検査	*2		*5	*5
	腹部超音波検査(胆嚢・肝臓・腎臓・膵臓・脾臓)	*付加		●	
	便潜血(2日法)	●		●	
婦人科	子宮頸がん(スメア方式)	*3			●
	卵巣がん(超音波エコー)				●
	乳がん(乳房エコー) <sup>※2</sup>	*3			*6
骨密度	手部X線検査				●
	医師判断(判定)	●		●	●
コース金額(税込)		¥5,282	¥11,000	¥29,700	¥35,200

\*1 過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は【¥582】で一度きり受診可能です。

\*2 胃部X線検査を追加料金【¥5,500】で内視鏡へ変更できます。

\*3 偶数年齢の女性

子宮頸がん【¥970】、乳がん 40歳～48歳【¥1,574】・50歳～74歳【¥1,013】でそれぞれ受診可能です。

\*4 胃部X線検査を料金【¥11,000】で追加できます。

\*5 胃管内視鏡検査を料金【¥16,500】で追加できます。

\*6 乳房エコーを追加料金【¥3,850】でマンモグラフィへ変更できます。

\*付加 40歳・50歳の方は【¥2,689】で受診可能です。

※1 周囲への飛沫・エアロゾル拡散の可能性があり、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、検査を一時休止しております。

※2 40歳未満の方へは乳房エコーを、40歳以上の方へはマンモグラフィの検査をそれぞれ推奨しております。